

# 実験 だ液による消化のはたらき

目的・・( ) は、( ) を加えると分解されるのかを調べる。

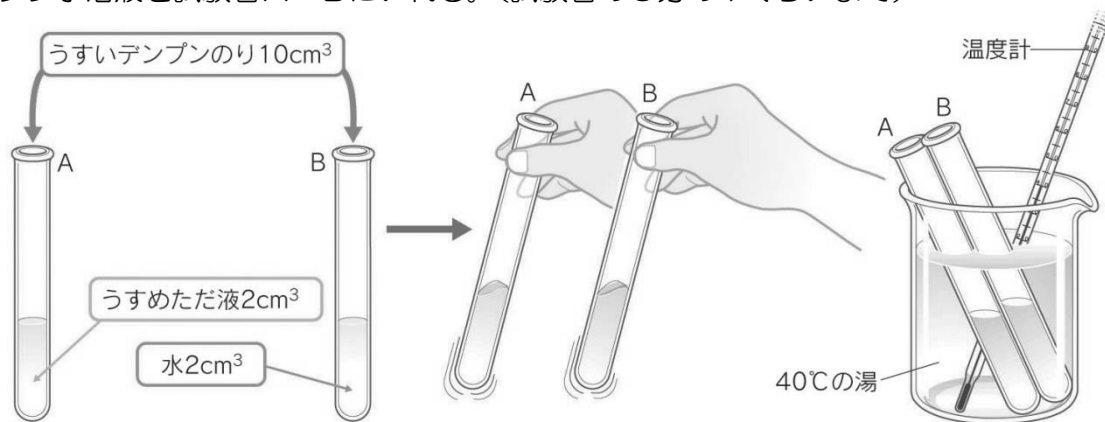
準備・・うすいデンプン水溶液、試験管（6）、ベネジクト液、ヨウ素液、試験管たて、ストロー、ガラス棒、沸とう石、ガスバーナー、マッチ、燃えさし入れ

ヨウ素液は（ ）があると（ ）色になる。

ベネジクト液は（ ）があると（ ）色になる。

方法・

① デンプン水溶液を試験管A・Bにいれる。（試験管の3分の1くらいまで）

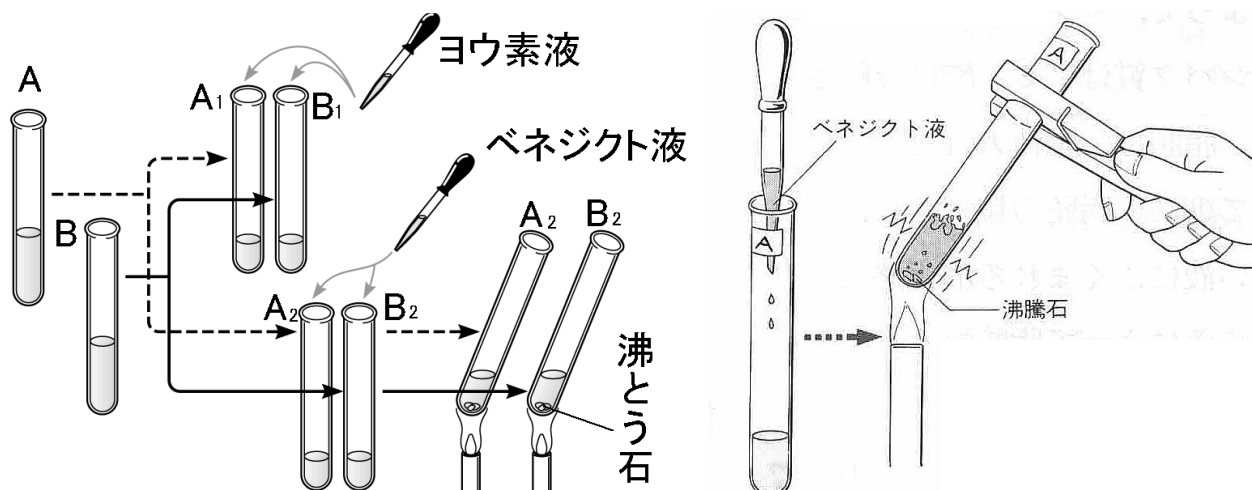


② ストローを口にくわえて「だ液」を試験管Aにいれ、かるくふり混ぜる。試験管Bにはだ液の代わりにほぼ同じ量の水を加える。

③ 試験管A・Bを40℃のお湯が入ったビーカーに入れ放置して、反応を進める。

④ ③の反応が進んだA・Bの試験管をそれぞれ2本ずつにわけてヨウ素溶液とベネジクト液を2～3滴加える。

⑤ ヨウ素溶液の方はそのまま色の変化を観察する。ベネジクト液の方は沸とう石を2～3粒入れた後、下図のように軽く振りながら加熱して色の変化を見る。



## 結果をまとめよう

|                   | ベネジクト液に対する反応 | ヨウ素溶液に対する反応 |
|-------------------|--------------|-------------|
| 試験管A<br>デンプン溶液+だ液 |              |             |
| 試験管B<br>デンプン溶液だけ  |              |             |
| 砂糖水               |              |             |
| デンプン水溶液           |              |             |
| 水                 |              |             |

考察・・・結果から、だ液のはたらきについていえることは、

・だ液は、.....を分解し.....にかえる。

## 今日の実験・観察を通して・・・感想と考察をしよう

.....

.....

.....

.....

.....

今日の取り組みを自己評価しよう！ きちんと評価してくださいね！

関  
技  
思

グループで協力しながら観察や実験に積極的に取り組みましたか？ A・B・C

今日の実験の目的を達成しましたか？ A・B・C

実験や観察を通して、新たな知識を得ることができましたか？ A・B・C

## 補足説明・・・教師実験より

( ) によって、だ液のはたらきにちがいが見られるかを調べる。

・温度が低いときには、.....

2年 組 番 氏名